

第6回高山駅周辺地区まちづくり協議会 公共空間検討部会議事録要旨

日 時 平成19年2月15日 (13:30～15:00)

場 所 高山市役所 中会議室(4階)

出席委員 8名

《駅周辺整備推進室長挨拶》

《部会長挨拶》

《議事》

報告事項

JR アンダーパス工事の進捗状況について

協議事項

駅東西広場のレイアウトについて

《質疑等》

部会長：事務局より駅前広場レイアウトについて、変更のあった点等の説明をしてもらった。説明に対し意見は。

委 員：福祉に関するスペースについて詳しく聞きたい。

事務局：タクシーの乗車場の前に車椅子が降りられる福祉スペースを配置している。誘導ブロックの配置及び段差の解消等については、詳細設計の段階で行いたい。

委 員：福祉車両のスペースは乗り降りの際にスペースが必要なので考慮していただきたい。

事務局：他の車に影響の無いように、歩道部分で乗り降りしていただく事も考えられる。路面に福祉スペースであると表示をする等考える。

委 員：タクシーエリアへの入口は1カ所になるのか？

事務局：安全性を考え1カ所となる。

委 員：タクシースペースが12台は少ない。

事務局：(春に行った)タクシーの運行状況調査では、駅西側への運行が多かった。(1日の平均運行回数約180回の内、駅西側へ約100回)

駅西広場にもタクシースペースができる。東西両方で対応していただきたい。

タクシーの会社が増えてきているので、タクシー協会にて駅広場への乗り入れ等の協議をして欲しい。

部会長：バスの関係はどうか。

委 員：限られたスペースなので無理は言えない。歩道空間が広すぎてもったいない。これだけ必要なのか。

バス出口を区画道路と別にできないか。

事務局：県の公安に協議した結果、安全面で区画道路のすぐ横にバスの出口を設ける

ことは駄目だと言われた。

委員：公安で無理というなら仕方がない。

委員：公安の協議は正規な場での協議ではないので、今後の協議の中で細かい修正はあるかもしれない。

（公安委員会では、花里本母線沿いに計画されている送迎バスエリアが一番問題だと考えている。）

バリアフリー面については、新法ができたので他の委員会等から意見がでてきて、今後検討されると思う。

協議事項

駅舎・自由通路のイメージについて

《質疑等》

部会長：この場の意見を22日の本部会（まちづくり協議会）に提案する。その後市内部（政策調整会議等）に諮られ、JRが設計を行なう際に要望として伝えて頂く。

3案からどれにするのかを決めるのは難しいので、少なくともこの機能だけは、取り入れてほしいといった意見を聞き、本部会に提案したい。

1案は、ポイントとして屋台蔵を取り入れる発想となっている。

（写真の撮影ポイントにもなる。）

2案は、（1案の変形のような形であるが）町屋をイメージしたものとなっている。

3案は、駅前の十六銀行のように壁がレンガで上部が格子風となっている。駅前広場は、

（水辺を配置してあるが）水辺はどのような物がよいか等についても意見を聞きたい。

（意見例としては）

広場については、とことんユニバーサルデザインに配慮したものとする。

（などでも良いです。）

委員：融雪や各乗り場へのシェルター（雨や雪対応）は必要である。また案内所から人を誘導するサイン類の検討（木製にする等材質）も必要である。

事務局：融雪は車道部分も必要ですか。

委員：歩車道両方必要と考える。

委員：駅前にタクシーの案内（混んでいる時に誘導員が一人付いている。）がある。また設置できるのか。

タクシー乗り場に屋根が欲しい。

委員：観光案内所が2階ということだが、観光案内所はバスの利用者も、利用している状況である。バスを降りてわざわざ2階に行くのは不便ではないか。

事務局：観光案内所が2階ということについては、他からも意見があり検討中である。

委員：中部電力で、融雪専用の電力ができたと聞いた。活用したらどうか。（夏場の基本料金がいない）

部会長：駅舎横の交番・駐輪場の部分は、白くぼかしてあるが、駅舎に合わせたデザインとしてほしい。

委員：自由通路は24時間通れるのか。

事務局：そうである

委員：24時間通れるなら、防犯面で配慮が必要である。
（防犯カメラ等の設置が必要である。）

委員：1案の蔵の扉は開くのか。

委員：決まっていない。開くようにするなら中の検討が必要となる。何か考えるなら屋台を置くか等だが、今後検討となる。

委員：憩うためのベンチはないのか。
また、ベンチ等の休息空間はバラバラに設置するのではなく、一箇所に集約した方が良い。

事務局：詳細設計の段階で検討したい。

委員：ベンチや休息するための場所があったほうが良いと考える。
屋根の融雪はどのように考えているのか。つららが下がっていると風情があるが、危ない。

委員：1案の屋根の形状と屋上の庭風の広場が良い。

委員：このような植栽（広葉樹）をすると手入れが大変である。
（針葉樹なら管理が楽だが風情がない。）
管理は市が行なうのか。

事務局：そうです。

委員：駅前を利用する団体のボランティアでやってもらえば良いのではないか。

事務局：高山市は山地だが街中に緑があまり無い。観光地であり観光客が何をもとめるかと考えると、潤い安らぎではないかと思う。
（緑を取り入れたい。）

委員：地下に水をためることはないのか。
（陣屋でもやっていたが）

事務局：陣屋では防火水槽を設置した。
（このようなことも、今後検討したい。）

委員：駅周辺の地下水は豊富なのか。

事務局：地下水は豊富です。

委員：ポッポ公園の工事の時、地下水が豊富であった。

事務局：昔の機関庫の所にも井戸がある。
また、今の噴水も地下水で行っている。
地下水の利用は今後検討する。

委員：ポッポ公園は、噴水があるだけで子供が集まるので非常に良い。また桜も咲

いて良い。

委員：木を植えるのは良いが、外来種ばかりではいかん。

委員：木を植えるのならイチイが良いのでは。

事務局：駅前のイチイは枯れてしまった。

（イチイは根付かせるのが難しい。）

部会長：自由通路に展示空間を設け、展示を有料としてそのお金を管理費に充てることは良いのではないか。

事務局：松本市では、自由通路に特産品を展示してあり良かった。ガラスが多く使われ山が直接見えた。

直江津市は、船をイメージし、窓が丸型となっていた。

部会長：ユニバーサルの面から意見はないか。

委員：音声誘導を設置するのはどうか。スイッチを押すと声が流れるといったものがある。

事務局：今後検討して行きたい。

誘導については、分かりやすい誘導を考えたい。

部会長：駅舎の中に木を取り入れることどうか。（木質化）

（駅に降りた時を考え、内部及び外部でも検討してほしい。）

委員：駅舎について、1案の屋台蔵を取り入れることは良い。中に屋台を設けて欲しい。

観光客は、市内の屋台蔵の前を通っても、中に屋台が入っていることに気が付かずに通り過ぎてしまっていると思う。駅に高山市のシンボルの屋台（蔵）を構えることは良い。

屋台蔵をつくり、その表示（屋台を納めている蔵である）をし、屋台が納まっている事を観光客に知らせるようにしたら良い。祭りの時以外に来た観光客にも屋台を見てもらえるので良い。

駅横の白くなっている建物も考えたほうが良い。

事務局：白くなっている部分も今後検討する。

この部分は、一部が交番となる予定である。警察へは一体感のあるイメージで建設するよう協力依頼はしている。

委員：駅を降りた人に屋台のすばらしさを伝えられれば良い。

部会長：屋台に限らず、シンボルとして設置した物については、表示（説明）をする。

今までの意見を事務局で再度発表して欲しい。

事務局：（今までの意見を発表）

委員：屋台蔵を設置し、屋台が入っている蔵であることを観光客に知って欲しい。

屋台蔵の前（駅舎）で観光客が写真を撮れるように配慮して欲しい。

部会長：今日の意見をJRの設計に取り入れてもらうように意見として上げたい。

委員：緑については、高山は山国なので駅にも緑をたくさん取り入れて欲しい。

（今までのようなガランとしたイメージでなく、山国と思える駅前広場と

してほしい。)

事務局：緑については、駅東西共に配慮したい。

部会長：(それでは意見もこれくらいだと思いますので)

後日、良い案が思い浮かんだら事務局へ伝えて下さい。

(22日の本部会までに)

委員：少し良いですか、

ユニバーサルデザインについては、ハード面での配慮は大事だが、ソフト面のことも考えてほしい。例えば駅前広場の掃除をするボランティアの団体をつくるなど、市民みんなで管理していくことや、観光客をもてなすといった面での意識付け、他の団体と協力してきれいに管理するなど、できたら良い。

事務局：自由通路及び駅舎の(案)につきましては、今後、「まちづくり協議会」・市内部(政策調整会議等)及び関係機関(JR等)との協議において修正が加わると思います。(大幅な修正もあり得る。)

その点については御了承願いたい。(ご理解をお願いします。)

部会長：今後の協議において、今回の案が変更になる時は郵送で委員に知らせてほしい。

事務局：郵送ではなく、部会を開催して報告したい。

(資料については外に出せないものがある。)

(アンダーパスの見学を兼ねて、4月過ぎに状況報告を行なえればと思う。)

《閉会》